

バッチ基盤はサービスリニューアルに伴い、2018 年 1 月 11 日(木)0 時(UTC)より新規申込の受付を休止しています。

[前提]

- (1) 本サービスは、FUJITSU Cloud Service for OSS PF（以下「PF」という）の利用が前提となります。
- (2) 本サービスは、あらかじめ構築された PF のシステム構成パッケージ(Web/AP/DB の組合せパターン)に対して、バッチ処理を実行するための実行環境を提供するもので、PF の利用料金は別途発生します。

1. サービス仕様

当社は、以下のサービスを提供します。

(1) バッチ基盤基本サービス

① アプリケーション実行環境

Java で開発された契約者のバッチアプリケーションを本サービス上で配備（以下「デプロイ」という）および実行するための環境を提供します。なお、契約者がデプロイしたバッチアプリケーション（以下「本アプリケーション」という）を実行する環境としては別表 1 のシステム構成パッケージ（マスタノード（注 1）、計算ノード（注 2）、および共有ディスクの組合せパターン）を提供します。また、必要に応じて計算ノードの追加を行うことができます。

② 開発フレームワーク

契約者のアプリケーション開発を支援するバッチ開発フレームワークを提供します。

(2) ダッシュボード

本サービスの利用状況を管理することができる操作画面を提供します。

① お知らせ

リリース情報等の情報を確認することができます。

② ステータス

アプリケーション実行環境の稼働状況と PF の稼働状況を確認することができます。

③ ノード情報

マスタノードおよび計算ノードごとに稼働状況を確認することができます。

計算ノードのスペックを確認することができます。

マスタノードおよび計算ノードを操作（再起動）することができます。

④ 共有ディスク

共有ディスクの使用量を確認することができます。

⑤ 最近のイベント

サーバの操作（計算ノードのスケールアウト・スケールイン／バッチ適用／マスタノード・計算ノードの再起動）イベントの履歴を確認することができます。

(3) 運用

計算ノードのスケール操作やメール通知を行う監視項目の設定等の運用機能を提供します。

① ログ管理

システムログや業務ログを取得し、ZIP 形式でダウンロードすることができます。

② ジョブ

i. ジョブスケジューラ（注 3）の Web コンソールを起動し、ジョブネットの確認および操作を行うことができます。

ii. ジョブの実行結果を確認することができます。

iii. ジョブスケジューラ用のログインパスワードを変更することができます。

ジョブスケジューラコンソール接続のための情報確認および設定を行うことができます。

③ メール通知

計算ノードの監視項目(CPU 使用率・メモリ使用率・共有ディスクのディスク使用率)ならびにジョブおよびアプリケーション実行環境の稼動状況監視を設定し、所定のメールアドレスに通知することができます。なお、本機能については、ヘルプデスクサービスにおいて「ヘルプデスク ベーシック」または「ヘルプデスク プレミアム」を選択した時にのみ提供します。

④ サーバ

計算ノードのスケール操作（スケールアウト／スケールイン）を行うことができます。

⑤ パッチ適用

契約者はパッチ適用画面の適用可能パッチ一覧からソフトウェア等のパッチ適用を行うことができます。

⑥ モニタリング

計算ノードの CPU 使用率・メモリ使用率および共有ディスクのディスク使用率についての統計情報を確認することができます。また、計算ノードごとに統計情報を ZIP 形式でダウンロードすることができます。

⑦ バッチ実績管理(試用版)

バッチの走行実績をジョブの一覧とチャートで確認することができます。走行実績情報は ZIP 形式でダウンロードすることができます。また、走行期間の計算ノードの CPU 使用率・メモリ使用率および共有ディスクのディスク使用率についての統計情報を確認することができます。

なお、本機能は試用機能として提供されます。当社は、本機能のサービス内容、提供状態、アクセスの可能性を含み何ら保証するものではなく、また、本機能の利用により契約者または第三者に生じた損害について、何ら責任を負わないものとします。また、当社は、当社の判断により、本サービス公開ホームページもしくは本サービスポータルへの掲載または E メールによる通知により、事前通知なく本機能の提供を終了する場合があります。

⑧ 履歴

サーバの操作（計算ノードのスケールアウト・スケールイン／パッチ適用／マスタノード・計算ノードの再起動）イベントの履歴を確認することができます。

(4) 開発

ユーザー資産の配備や生成データファイルの操作機能を提供します。

① ユーザー資産管理

ユーザー資産（ZIP ファイル等）を登録し、配備できます。

② ファイル操作

共有ディスク上のデータ領域にあるディレクトリ配下に対して、本アプリケーションが生成するデータファイルのダウンロード、アップロード、および削除の操作を行うことができます。

③ ダウンロード

ジョブスケジューラのジョブネット定義体を作成するためのツールおよびジョブスケジューラコンソールのツールをダウンロード可能な状態で提供します。

(5) ドキュメント

① マニュアル

本サービスに関するドキュメントを提供します。また、各種開発ツール（開発フレームワーク）をダウンロード可能な状態で提供します。

② FAQ

サービスに関する FAQ を提供します。

(6) WebAPI

以下について WebAPI で実行できます。

① リモートパッチ機能

パッチ処理をリモート実行する機能を提供します。

2. 提供リージョン

本サービスは、以下のリージョンで提供されます。

- ・東日本リージョン 1

3. 制限事項・注意事項

- (1) 本サービスにより提供されるアプリケーション実行環境については外部からのアクセスを制限をすることができず、本アプリケーションは常にインターネットに公開された状態となります。本アプリケーションのセキュリティについては契約者が単独で責任を負うものとします。
- (2) FUJITSU Cloud Service for OSS PaaS の HTTPS(TLS)仕様として、SSL/TLS 通信暗号化強度が高くない方式を使用する事が可能となっています。PaaS が提供する HTTPS に対するアクセスについて、新しいブラウザを使用するなどして、暗号化強度が高い方式で通信されるようにしてください。

注釈

- 注1. 「マスタノード」とは、ジョブスケジューラの管理サーバを指します。
- 注2. 「計算ノード」とは、バッチ処理の実行サーバを指します。
- 注3. 「ジョブスケジューラ」とは、ジョブのスケジューリング・監視ツールを指します。当社が提供する「FUJITSU Software Systemwalker Operation Manager」をベースにした Web コンソールに加え、ジョブスケジューラコンソール（FUJITSU Software Systemwalker Operation Manager クライアントツール）をダウンロード・利用できます。
- 注4. 「ジョブネット」とは、複数のジョブの依存関係を定義するものです。

以上

別表 1 システム構成パッケージ一覧

アプリケーション実行環境では、以下のシステム構成パッケージを提供します。

システム構成パッケージ	構成				
	マスタノード		計算ノード		共有ディスク
	台数	内容	台数	内容	
ベーシック	1	2vCPU 8GB メモリ	1	2vCPU 8GB メモリ	500GB

必要に応じてポータル画面から計算ノードの追加を行うことができます。
本サービスで利用できる計算ノード台数の上限は、1 システム構成パッケージあたり 10 台です。

以上

附則（2016 年 10 月 7 日）

本サービス仕様書は、2016 年 10 月 7 日から適用されます。

附則（2017 年 3 月 23 日）

本サービス仕様書は、2017 年 4 月 7 日から適用されます。

附則（2018 年 5 月 24 日）

本サービス仕様書は、2018 年 5 月 24 日から適用されます。

附則（2018 年 6 月 22 日）

本サービス仕様書は、2018 年 6 月 22 日から適用されます。

附則（2018 年 8 月 30 日）

本サービス仕様書は、2018 年 8 月 30 日から適用されます。